

会報

日本勤労者山岳連盟（富山県連盟）

新日本スポーツ連盟

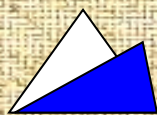
No. 278

2023年11月1日

代表 岩井 富雄

射水市宝町 1364-35

TEL・FAX 57-8180



三島野スポーツクラブ



妙高市 笹ヶ峰 小木 清画

## 11月・12月の企画案内

- ◇11/ 3 南保富士・二王山
- ◇11/15 自企画 福地山
- ◇11/25~26 富士を愛でる山旅
- ◇12/10 金華山

## 山行報告

10/22 海谷溪谷

# 11月・12月企画案内

## 11/25(土)～26(日)

### 富士を愛でる山旅

一日目は富士スバルラインの5合目の奥庭散策を予定していますが天候次第で通行止めになりますのでその際は河口湖周辺の散策予定

おくにわさんさく  
**奥庭散策**

&

あしわだやま  
**足和田山**

5合目 2350m

鳴沢村 1355m

5合目駐車場の手前、4合目から5合目入口にある「奥庭自然公園」は、自然をそのままの形で残してあるので富士山の自然や文化を肌で感じられる場所となっています。

また、大型バスが停められない為団体客も殆どおらず、人が圧倒的に少ないので、まさに穴場と言っていい場所となっています。

#### 【行程】

■11/25(土) 集合5時50分・出発 薬勝寺池 P6時00分  
安房峠經由松本IC→中央高速道→一宮御坂IC→国道137号  
→県道707号→富士スバルライン5合目→奥庭バス停 11:30  
分頃到着予定

体力度・技術度とも★☆☆☆☆

奥庭散策2時間 → 民宿こばやし

民宿 こばやし 宿泊山梨県鳴沢村 1102 ☎555-85-2441

■11/26(日) こばやし7:30

道の駅出発8:00→分岐→分岐→三湖台8:40→分岐→10:30  
足和田山 10:50→ 分岐→ 道の駅登山口の周回コース  
12:30 予定

薬勝寺池 P20時頃 帰着予定

登り618m 下り(累積) 618m (距離8km) 5時間

体力度・技術度とも★☆☆☆☆

#### 【装備】

防寒対策(手袋、帽子、ウェアなど)、ストック、軽アイゼン(チェーンアイゼン)、温飲料、1日目昼食、行動食、ヘッドランプ(軽アイゼン無い方 応相談)

【参加申込】11月10日までの場邦夫へ SMS 090-4320-5325

【費用】20,000円(宿泊費、交通費、雑費)



上・五合目奥庭

下：足和田山より望む富士山





# 11/15 (水) 福地山

## 自主企画

11月15日(水) 福地山 1671,7m

高山市 (旧 丹生川町)

コースの難易度 体力度★★ 危険度★

温泉地の裏山として、手軽に登ることができる。初冬の冠雪した槍・穂高連峰の眺望が素晴らしい。

参加申し込みは11月13日(月) 岩井富雄迄

【行程】

薬勝寺池P集合 5:50 出発 6:00 → 登山口着 8:00

出発 8:10 → 無然平 10:10 →

頂上 11:30 出発 12:10 → 無然平 13:20 登山口

14:40 出発 → 14:50 → 薬勝寺P 16:50



# 12/10

(日)

# 金華山 (岐阜城)

標高は 329 メートル

金華山 (岐阜城)

【集合】6時30分 薬勝寺池P 【出発】6時40分

【行程】金華山を周回コースで歩く。危険箇所は無い。

歩行時間 約3時間

体力度・技術度 ★☆☆☆☆

【装備】無雪期の装備、防寒対策

【参加申込】11月30日午後6時まで  
塚 良昭 080-8033-7427

【概算費用】5,000円



# 山行報告

10月22日(日)

# 海谷溪谷

糸魚川市

メンバー：(L) 荒井英治 塚 良昭 的場邦夫 棚田清志 山本則夫 島倉津也子 石黒洋子

## 【 行程記録 】

薬勝寺P発	7:00→
海谷山峡パーク発	9:00→
海谷高地着	11:00
(昼食と散策)	
海谷高地発	11:50→
海谷山峡パーク着	13:30
薬勝寺 P着	15:50



- 石 黒**：溪谷の中を歩くという初めての体験で、憧れていた素晴らしい景色に出会うことができました。水の音、ひんやりとした風、大きな岩、緑の中の赤や黄の紅葉、岸壁を流れる滝…自然に囲まれ、癒やされました。「越後の上高地」と呼ばれるのは、本当にその通りだと思いました。
- 島 倉**：青い空、白い山、紅葉の三重奏が素晴らしかった。登山道わきのキノコがリップで気になりました。
- 塚**：紅葉時期の日曜日なので、先着の二つの団体で駐車場は一杯でした。前日の雨で川の渡渉を心配していましたが、危険な処に梯子が架けてあり、安全に渡ることが出来ました。海谷高地は越後の上高地と言われるように、川が流れ周りは錦に彩られた紅葉の山に囲まれ大変綺麗でした。
- 的 場**：前日の増水で海谷溪谷はダメかなと思い戸倉山に思いが大分行っていましたが、リーダーが海谷溪谷と判断し登山口へ向かう。登山口は地元の公民館のツアーの関係で沢山の人でした。最初ツアーの後について行ったがやはり団体なので遅いので渡渉の場所で先に行かせていただき、その後は順調にいき海谷高地に着きたっぷり昼食時間を満喫、また景色も青空も満足でしたが、帰りの七曲りでメンバーの一人が転倒して10m位滑落したが、かすり傷で済んでほっとしました。



**榎 田**：晴天に恵まれて越後の上高地と呼ばれる絶景を楽しむことができました。ここは映画「檜山節考」のロケ地となった秘境です。途中の車窓から草むらの中にぽつんと墓が建っているのが見えました。登山口のキャンプ場にある展望台から、上部が紅葉した千丈ヶ岳の大岩壁に道のようなものが見え、その先に穴が開いているよう見えます。あそこを主演の緒形拳が坂本スミ子を背負って歩き、あの穴の中で最期の別れをしたのかなと想像は広がります。そこにリーダーの「さあ、出発しましょう」の無情の声が響きます。私は黒部峡谷の水平歩道の訓練のような山道を歩き始めた。しばらく行くと大きな岩のゴロゴロ転がっている沢を徒渉します。映画の二人はここをどの様に渡ったのかな？これは映画を見なくてはいけない。うむー・・・。

**山 本**：先日2日間雨が降り、またしても中止かと思いましたが、当日出発前にリーダーの強い意志の言葉を聞き決行となった。紅葉には1週間位早かったと思われましたか、天気も良く三度目のチャレンジもやっと叶い感無量でした。



大収穫の海谷溪谷登山（良きにつけ、悪きにつけ） 長い報告・感想文 荒井英治  
収穫（その1）好天に恵まれて

教訓 『好事、魔多し。』・『勝って兜の緒を締めよ。』と『転ばぬ先の杖』

教訓1 『好事、魔多し。』・『勝って兜の緒を締めよ。』（登山道からの転落事故から得た教訓）

転落したのは私です。海谷高地の絶景、パノラマを堪能した帰路で、急斜面の下りで、谷側の路肩を踏み外し、もんどりうって転げ落ち、5、6メートル下方の斜面でどうにか停止した。立ち上がってケガの状態を確認したが何とか自力で下山できそうだったのでほっとした。

どうしてこんなことが？と自問してみても思い当たることは、気分が高揚していて、慎重さが必要とされる悪路の下りで軽率な足運びをしていたこと。

目的地の海谷高地は2017年10月1日の第7回日本勤労者山岳連盟北信越ブロック主催の交流登山で、途中で渡渉地点での危険さに不安を感じて撤退した因縁の地。だから、隣県といえ、それなりの遠出なので無駄足を踏みたくないから、事前に体験者や地元の公民館に問合せ、また2、3日前から現地の降雨情報をインターネットで集めるなどして万全を期した。しかし、結局のところ、現地の渡渉地点まで行ってその時点での川の流れの状況を確認し、そこで進退を決めるしかなかった。

本番当日、朝の降雨予報を見て、『これなら行ける。』と思い、渡渉で膝近くまで濡れようとかまわず渡渉して海谷高地まで行くつもりだった。ラッキーにも予想より早く雨が上がり、目的地に着いた頃には晴れ渡り、海谷高地を囲む山々の重量感に圧倒される。

『本当に来て良かった。三島野パーティの面々も同じ思いでいるだろう』と、リーダーとしてとても嬉しく誇らしげな気分になっていた。ルンルン気分で弾むような足取りで下山していた。それが転落事故の根本原因。

教訓2 『転ばぬ先の杖』 駐車場に到着してから、再度ケガの状況を確認している時、被っていたヘルメットを見ると外側に鋭利な刃物で抉ったようなキズがあった。もし、このヘルメットを被っていなかったら頭部損傷で場合によっては致命的なことになっていたかもしれない。そう思うと、30年程前にリサイクルショップで買ったローラーズ用の安価なヘルメットを愛おしく感じた。（ヘルメットなどめったに被らなかったが、たまたま熊から頭部を守るために被っていたのが幸いした。）臆病といわれようと、馬鹿まじめといわれようと基本をしっかりと守って行動することが何時か自分を守り助けてくれることを実感した。

収穫2（浸食作用という地質現象を現場で確認・実感できたこと）

歩いている、記憶に残る6年前の渡渉地点の位置も風景も現在のそれと全く異なっていて、これが本当に6年前に交流登山で来た海川の渡渉地点なのかとキツネにつままれたようで、自分の記憶装置が狂っているのかと思い、前回も一緒に参加した山本さんに確認したが彼も同じ思いでいたようだった。最近頻発している列状降水帯の豪雨による激流で

峡谷地帯に堆積していた砂礫や大岩までもがどんどん下流の方へ運び去られていたようだ。

こうゆう浸食作用の現場を目の前にしてのリアリティは知的興奮を起こさせてくれて、貴重な体験だった。

自然も人間社会も激変動の時代にはいりつつあるのかと、不安とワクワク感がない混ざった気持ちにさせられる。

**後日談：**家に着いてから、転落事故の報いを痛感させられた。わき腹が痛くてまともな呼吸が出来ず、食べ物のかげらが肺に入りそうになっても咳をして吐き出すこともできず誤嚥性肺炎になりそうだった。寝る時も布団に入るのも、出るのも、寝返りを打つのもわき腹の激痛でままならず、これはやはり明日、病院へ行って肋骨や内臓の検査を受けなきゃいけないかと、暗い気分になったが、一晩寝ると大分楽になって、これは大丈夫というものずぼらな本性に戻ってしまっていた。(教訓3 三つ子の魂百まで)



## 〔三島野スポーツクラブ世話人会〕

任務分担	氏名	住所	TEL	携帯
代表	岩井 富雄	射水市宝町 1364-35	57-8180	090-5177-9255
副代表	的場 邦夫	氷見市十二町 1037-36	74-6434	090-4320-5325
副代表	堀井 泰則	高岡市石瀬 748-6	25-2792	090-1314-6394
会計担当	塚 良昭	射水市寺塚原 226	84-1162	080-8033-7427

世話人会は、荒井英治、川渕順正、棚田清志、新田俊明、山本則夫、加藤日出子、守田清子と上記の4名で構成します。

〔相談役〕山田 格、林 憲彦      〔監事〕草 進、浦 幸江

11月の世話人会開催は **11月7日(火)と21日(火)の午後2時から**、会場は「はなみずき」です。どなたでも自由に参加できます。ぜひ顔をだしてください。

会報編集担当です。会報に記載する原稿のは下記のアドレスに送ってください。

的場邦夫 [km920san@yahoo.co.jp](mailto:km920san@yahoo.co.jp)    堀井泰則 [horii.yasunori@rouge.piaia.or.jp](mailto:horii.yasunori@rouge.piaia.or.jp)  
松田理恵子 [krbara@p2.tcnet.ne.jp](mailto:krbara@p2.tcnet.ne.jp)    甲かほる [kab@p2.tcnet.ne.jp](mailto:kab@p2.tcnet.ne.jp)

会報『三島野スポーツクラブ』をインターネットで見るとするには、まず、「スポーツ連盟とやま」を検索し、次に富山県連盟、次の画面の「三島野スポーツクラブ」をクリックし、次の画面の「会報」をクリックすると見ることができます。

ホームページへのアクセスは [http://sportstoyama.namaste.jp/99\\_blank.html](http://sportstoyama.namaste.jp/99_blank.html) を入力して検索してください。また、スマホの場合は右のQRコードを利用してください。

全ページをカラー写真で見ることができます。



## 編 集 後 記

- ・編集長が病気療養して早1か月が経過した。先月の会報277号は編集長のアドバイスで何とか発刊できたが、今月の278号は世話人会のメンバーで何とか今までの会報を参考に仕上げました。醜いかもしれないが我慢してほしい。大変でした！！(的場)
- ・的場さんが中心になって、とにかく何とかしなくてはという思いで作成しました。改めて、編集長の偉大さを知るとともに、世話人会の皆さんの頑張りも見ることができて嬉しかったです。さすが、三島野スポーツクラブです。いいものができましたよ。(甲)
- ・会報の編集ご苦労様です。有難うございます。(岩井)
- ・堀井さんの1日も早い快復を念じあげます。(塚)
- ・10月は富山県内でも熊が人里に下りてきて、住民が襲われる事件が多発している。私の村にはまだ現れていないが、それも時間の問題か。私の毎日の楽しみが、日の出前の薄暗い時間帯に農道やあぜ道を一人で徘徊することなので困ってしまう。(荒井)